

平成 28 年度 事業報告

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本肝臓学会

平成 28 年度 事業報告

1. 一般社団法人日本肝臓学会定款(以下「定款」という。)第4条 第1項の規定に基づいて、以下のとおり、学術集会を開催し、学術誌・学術図書を発行した。また、研究の奨励、研究業績の表彰等を行なった。

(1) 学術集会の開催

総会・大会・東部会を開催した。

名称	期間・会場	会 長
第 52 回総会 参加：3,032 名	平成 28 年 5 月 19 日(木)～20 日(金) 千葉県：ホテルニューオータニ幕張他	横須賀 収 千葉大学大学院 消化器・腎臓内科
第 20 回大会 (JDDW2016) 参加：22,616 名	平成 28 年 11 月 3 日(木)～4 日(金) 神戸市：神戸コンベンションセンター他	高山 忠利 日本大学医学部消化器外科
第 41 回東部会 参加：1,704 名	平成 28 年 12 月 8 日(木)～9 日(金) 東京都：京王プラザホテル	橋本 悦子 東京女子医科大学消化器内科

国際学術集会を開催した。

第 12 回 Single Topic Conference 参加：299 名	平成 28 年 9 月 22 日(木)～23 日(金) 金沢市：ホテル日航金沢 テーマ：肝細胞癌	金子 周一 金沢大学大学院 恒常性制御学(消化器内科)
--	--	-----------------------------------

EASL- JSH Joint Session を開催した。

EASL 主催	2016 年 4 月 15 日 スペイン(バルセロナ) Theme : Fusion Hepatology -the global picture of NAFLD EASL, JSH, KASL から各 2 名	座長 工藤 正俊 Senior speaker 吉治 仁志 Junior speaker 川口 巧
JSH 主催 第 52 回総会	2016 年 5 月 20 日(金) 千葉県：ホテルニューオータニ幕張 テーマ：B 型肝炎	座長 小池 和彦 Senior speaker 茶山 一彰 Junior speaker 杉山 真也

EASL への派遣旅費・宿泊費は、シニアで 60 万円、ジュニアで 30 万円を限度として負担した。

『第 3 回肝臓と糖尿病・代謝研究会』を開催した。

第 3 回 肝臓と 糖尿病・代謝研究会 参加：416 名	平成 28 年 7 月 16 日(土) 金沢市：石川県立音楽堂邦楽ホール	金子 周一 金沢大学大学院 恒常性制御学(消化器内科)
------------------------------------	---	-----------------------------------

(2) 学術誌・学術図書の発行

- ① 和文誌『肝臓』 第 57 巻 4 号～第 58 巻 3 号までの 12 号及び第 52 回総会、第 20 回大会、第 41 回東部会の抄録を刊行した。
- ② 欧文誌『Hepatology Research』 Vol.46 No.4～12、Vol.47 No.1～4 の 13 号を刊行した。うち、Vol.47 No.3 は、オンライン出版とした。
2015 年 Impact Factor は、2.208(前年 2.735 から -0.527)

③ その他

- 『肝炎治療ガイドライン』の改訂作業を継続し、HPに公表した。
 - 10月11日 C型肝炎治療ガイドライン第5.1版（フルテキストと簡易版）
 - 12月5日 C型肝炎治療ガイドライン第5.2版（フルテキスト）
 - 3月10日 C型肝炎治療ガイドライン第5.3版（フルテキストと簡易版）
- 『肝癌診療ガイドライン第4版』の発刊に向けて作業を継続した。
- 4月16日『慢性肝炎・肝硬変の診療ガイド2016』を出版した。
- 9月28日『日本肝臓学会 肝臓専門医認定試験問題・解答と解説（第4集）』を肝臓専門医制度審議会で監修し、出版した。
- 10月31日『肝臓専門医テキスト改訂第2版』を出版した。

(3) 研究の奨励、研究業績の表彰

- ① 「織田賞（学会賞）」を榎本 信幸（山梨大学）に授与した。
- ② 「研究奨励賞」を8名に授与した。
 - 須田 剛生（北海道大学消化器内科）
 - 瀬古 裕也（京都府立医科大学消化器内科）
 - 舘 佳彦（小牧市民病院消化器内科）
 - 玉城 信治（武蔵野赤十字病院消化器科）
 - 戸島 剛男（松山赤十字病院外科）
 - 日浦 政明（産業医科大学第3内科学）
 - 藤野 初江（広島大学病院消化器・代謝内科）
 - 松本 倫典（東京慈恵会医科大学外科学講座・肝胆膵外科）
- ③ 「機関誌 High Citation 賞」を5名に授与した。
 - 肝臓 1篇
 - 熊手 絵璃（原三信病院総合診療科）
 - Hepatology Research Review article（含 Special Report） 1篇
 - 桶谷 眞（吉野東ホームクリニック）
 - Hepatology Research Original article（含 Short Communication, Case Report） 3篇
 - 吉住 朋晴（九州大学消化器・総合外科）
 - 安居幸一郎（京都府立医科大学消化器内科）
 - 孝田 雅彦（鳥取大学肝臓内科・光学医療診療部）
- ④ 「冠 Award（4社）」を7名に授与した。
 - 第15回 MSD Award
 - 北畑富貴子（東京医科歯科大学病院消化器内科）
 - 平峯 智（九州大学大学院感染制御医学分野）
 - 第15回 OTSUKA Award
 - 藤原 直人（東京大学医学部附属病院消化器内科）
 - 第1回 AbbVie Award
 - 多田 俊史（大垣市民病院消化器内科）
 - 玉城 信治（武蔵野赤十字病院消化器科）

○ 第1回 Gilead Sciences Award

小池 和子（岡山大学大学院医薬学総合研究科消化器・肝臓内科学）

佐藤 光明（山梨大学医学部附属病院第一内科）

⑤ 国際学術集会の参加者に対する旅費等を助成した。（30名を限度とする）

1	勝見 智大	山形大学医学部第2内科	EASL
2	赤穂宗一郎	岡山大学院病院消化器内科	AASLD
3	足立 卓哉	岡山大学院病院消化器内科	APASL
4	宮副 由梨	長崎大学病院消化器内科	ILCA
5	今井 則博	名古屋大学消化器内科	AASLD
6	菅 宏美	広島大学病院消化器・代謝内科	AASLD
7	村田 礼人	順天堂大学静岡病院	AASLD
8	Le Thi Thanh Thuy	大阪市立大学医学研究科肝胆膵病態内科学	AASLD
9	林 佐奈衣	名古屋市立大学病態医科学	AASLD
10	林 倫留	武蔵野赤十字病院消化器科	AASLD
11	松永恵里香	浜松医科大肝臓内科	AASLD
12	志波 俊輔	慶應義塾大学病院消化器内科	AASLD
13	林 学	福島県立医科大学消化器内科	AASLD
14	金子 俊	東京医科歯科大学消化器内科	AASLD
15	長谷部拓夢	旭川大学消化器・血液腫瘍制御内科	AASLD
16	石破 博	京都府立医科大学消化器内科	AASLD
17	芳賀 祐規	千葉大学医学部附属病院消化器腎臓内科学	APASL

⑥ 外国人研修生の学術集会参加の旅費等の助成はなかった。

2. 定款第4条第2項の規定に基づいて、教育講演会を開催し、新たに肝臓専門医を認定した。

(1) 教育講演会

名称	期日・会場	会長
前期 教育講演会 参加：625名	平成28年5月20日(金) 千葉県：ホテルニューオータニ幕張	横須賀 收 千葉大学大学院 消化器・腎臓内科
単独開催 教育講演会 参加：696名	平成28年8月7日(日) 大阪市：グランキューブ大阪	竹原 徹郎 大阪大学大学院消化器内科学
後期 教育講演会 参加：654名	平成28年12月9日(金) 東京都：京王プラザホテル	橋本 悦子 東京女子医科大学消化器内科

(2) 肝臓専門医制度

① 肝臓専門医制度に基づいて平成28年度の施設の認定、指導医委嘱を行った。

また、平成28年4月に追加で施設の認定、指導医の委嘱を行った。

専門医認定試験は、平成28年11月19日(土)砂防会館(シェーンバッハ・サボウ)において実施した。受験者数：386名、合格者数：310名

平成28年度の専門医更新者は、901名であった。

② 専門医制度の改定に伴い、専門医の在り方について検討した。

消化器 3 学会連携協議会、内科系関連 13 学会協議会、内科系関連 13 学会プログラム作成実務者会議などに参画し、6 月 13 日には日本専門医機構によるヒアリングが行われた。

(3) 肝がんラジオ波焼灼療法技術認定制度の検討については、未着手である。

3. 定款第 4 条第 4 項の規定に基づいて市民公開講座を開催し、各都道府県責任者のもとにおいて肝がん撲滅運動を展開した。

(1) 一般市民の肝臓病に関する啓発のため、厚生労働省の後援を得て、肝臓週間 7 月 25 日(月)～7 月 31 日(日)の平成 28 年 7 月 31 日(日)に全国 5 ヶ所で市民公開講座を開催し、677 名の参加があった。

○ 東北地区会場 山形県生涯学習センター 遊学館 山形市 61名

責任者 上野 義之 (山形大学医学部内科学第二(消化器内科学)講座)

○ 甲信越地区会場 朱鷺メッセ 国際会議室 新潟市 59名

責任者 寺井 崇二 (新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科分野)

○ 近畿地区会場 京都府立医科大学附属図書館 京都市 150名

責任者 伊藤 義人 (京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学)

○ 中国地区会場 川崎医科大学 現代医学教育博物館 倉敷市 169名

責任者 日野 啓輔 (川崎医科大学肝胆膵内科学)

○ 九州地区会場 佐賀勤労者総合福祉センター 佐賀市 238名

責任者 江口有一郎 (佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター)

(2) ウイルス肝炎研究財団主催の市民公開講座の開催地及び責任者を推薦した。

○ 中部地区責任者 中本 安成 (福井大学医学部内科学(2)領域)

なお、本講座は、平成 28 年 10 月 23 日(日)、福井県県民ホールで開催された。

(3) ウイルス肝炎研究財団主催のパネルディスカッションを共催した。

日時 平成 28 年 7 月 30 日(土)13:00～16:00

会場 福島市コラッセふくしま 多目的ホール (福島市三河南町 1 番 20 号)

(4) 肝がん撲滅運動

各都道府県 50 地区で市民公開講座や医療従事者向けの講演会等を開催した。

4. 役員改選と委員会委員の改選

(1) 定款第 20 条の規定に基づいて役員を選任した。

平成 28 年 5 月 19 日の定時総会(評議員会)において選挙により理事及び監事候補者を選考し、すべての理事、監事の就任について承認を得た。また、5 月 20 日の臨時理事会で理事長を選出、6 月 24 日の第 3 回臨時理事会で理事の役割分担を決定した。なお、今年度は、幹事は選考しなかった。

理事長：小池 和彦

副理事長：滝川 一、総務理事：茶山 一彰、財務理事：滝川 一

理事：泉 並木、榎本 信幸、鹿毛 政義、工藤 正俊、坂本 直哉、
佐々木 裕、高山 忠利、竹井 謙之、竹原 徹郎、田中 榮司、

西口 修平、橋本 悦子、持田 智
監 事：横須賀 収、吉岡健太郎

(2) 委員会委員の改選

- 6月24日の第3回臨時理事会で、評議員選出委員会及び演題選定委員会を除く各種委員会委員を選出した。
- 評議員(代議員)の互選によって演題選定委員会委員、評議員選出委員会を選出した。
演題選定委員会 5月23日告示、6月3日投票締切、6月7日理事立会いのもと開票
評議員選出委員会 6月13日告示、6月24日投票締切、6月28日理事立会いのもと開票
- 肝移植委員会
6月24日に日本移植学会、日本肝移植研究会と『脳死肝移植医療の検討に関する協定書』を締結し、2団体から推薦された5名を委員として参画する体制を整備した。

5. 会議の開催

定款及び定款施行細則等の規定に基づいて、理事会、定時総会(評議員会)を開催するとともに各種委員会を随時開催し、学会の運営等について審議した。

(1) 理事会

第1回定例理事会	平成28年 5月18日(水)	千葉幕張
第1回臨時理事会	平成28年 5月20日(金)	千葉幕張
第2回臨時理事会	平成28年 6月17日(金)	持回審議
第3回臨時理事会	平成28年 6月24日(金)	東京
第4回臨時理事会	平成28年 8月17日(水)	持回審議
第2回定例理事会	平成28年 11月 2日(水)	神戸
第3回定例理事会	平成29年 3月14日(火)	東京

(2) 定時総会(評議員会)

平成28年 5月19日(木) 千葉幕張

(3) 各種委員会

・財務委員会(第1回)	平成28年 5月 6日(金)	東京
(第2回)	平成29年 2月28日(火)	東京
・企画広報委員会(第1回)	平成28年 5月 9日(月)	持回審議
同 (第2回)	平成28年 6月10日(金)	持回審議
同 (第3回)	平成28年 8月10日(水)	東京
12th STC 会長 interview	平成28年 5月19日(木)	千葉幕張
第41回東部会会長 interview	平成28年 5月19日(木)	千葉幕張
第20回大会会長 interview	平成28年 5月20日(金)	千葉幕張
第53回総会会長 interview	平成28年 11月 4日(金)	神戸
肝癌診療 GL 改訂作業説明会	平成28年 6月30日(木)	東京
肝癌診療 GL 改訂委員会(第4回)	平成28年 9月22日(木)	金沢
同 (第5回)	平成29年 1月14日(土)	東京
同 (第6回)	平成29年 3月20日(月)	東京
肝炎診療 GL 作成委員会	平成28年 11月 3日(木)	神戸
・学術集会審議委員会(第1回)	平成28年 4月19日(火)	東京

同 (第2回)	平成28年12月2日(金)	持回審議
(国際委員会との合同委員会)		
肝臓と糖尿病・代謝研究会合同委	平成28年10月22日(日)	東京
・演題選定委員会		
第20回大会(第2回)	平成28年5月26日(木)	東京
第53回総会・第21回大会(第1回)	平成28年7月21日(木)	東京
第41回東部会	平成28年8月25日(木)	東京
第53回総会(第2回)	平成29年2月9日(木)	広島
・欧文誌編集委員会(第1回)	平成28年5月19日(木)	千葉幕張
同 (第2回)	平成28年11月4日(金)	神戸
・和文誌編集委員会(第1回)	平成29年1月30日(月)	東京
同 (第2回)	平成29年1月31日(火)	持回審議
・研究助成委員会(第1回)	平成28年4月7日(木)	東京
同 (第2回)	平成28年9月29日(木)	東京
・生涯教育委員会(第1回)	平成28年10月3日(月)	東京
・専門医制度審議会(第1回)	平成28年4月6日(水)	東京
同 (第2回)	平成29年1月26日(木)	東京
肝臓専門医研修プログラム作成WG	平成28年8月26日(金)	東京
・専門医試験委員会(第1回)	平成28年7月29日(金)	東京
同 (第2回)	平成28年8月18日(木)	東京
同 (第3回)	平成28年10月6日(木)	東京
同 (第4回)	平成28年11月19日(土)	川崎
・市民公開講座企画検討委員会(第1回)	平成28年9月9日(金)	東京
同 (第2回)	平成28年11月28日(月)	持回審議
・社会保険委員会	平成28年9月30日(金)	東京
・肝移植委員会		
脳死肝移植新適応評価基準作成WG	平成28年4月17日(日)	東京
第1回肝移植委員会	平成28年9月12日(月)	持回審議
(4) 支部会関係		
西部会世話人会	平成28年11月3日(木)	神戸
西部会評議員会	平成28年11月3日(木)	神戸
東部会世話人会	平成28年12月7日(水)	東京
東部会評議員会	平成28年12月8日(木)	東京

6. その他

(1) 他の学術団体との連携について

① 日本医学会関係

第3回臨時理事会では、評議員(小池 和彦 理事長)、連絡委員(滝川 一 副理事長)と定めたが、小池理事長は日本医学会の幹事であるため就任できず、滝川副理事長は消化器病学会の連絡委員であるため就任できなかったため、以下のとおり定めた。

- ・評議員 泉 並木 理事（日本医学会連合の代表を兼ねる）
- ・連絡委員 橋本 悦子 理事
- ・医学用語委員 持田 智 理事（企画広報委員長）
- ・医学用語代委員 河田 則文 評議員（持田 智 委員長推薦）

② 一般社団法人日本消化器関連機構（JDDW）関係

○ 平成 28 年 6 月 19 日、JDDW 倫理に関する連絡協議会の委員の推薦依頼があり、当学会倫理委員会委員長の西口 修平 理事を推薦した。

また、8 月 3 日、JDDW 倫理に関する連絡協議会ワーキンググループ委員の推薦依頼があり、神田 達郎 評議員（倫理委員会）、黒崎 雅之 評議員（演題選定委員会）を推薦した。

○ 平成 28 年 7 月 5 日、JDDW から、国際委員会設置に伴う社員の追加依頼があり、当学会国際委員会委員長の工藤 正俊 理事を推薦した。

○ 平成 28 年 12 月 26 日、JDDW 新役員（任期 2017 年～2019 年）を推薦した。

（理事）小池 和彦、工藤 正俊、泉 並木

（監事）渡辺 純夫

（社員）茶山 一彰、竹原 徹郎、持田 智

○ 平成 29 年 2 月 20 日 JDDW 倫理委員会の高後 裕 名誉会員の任期満了に伴う後任に鹿毛 政義 理事を推薦した。

③ 他の団体の後援

○ 2017 年開催 APASL シングルトピックカンファランス（会長 八橋 弘 評議員）
第 3 回臨時理事会で後援を承認した。

○ 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班の研修会「School of Autoimmune Liver Disease」
第 4 回臨時理事会（持回り審議）で後援を承認した。

○ 第 5 回日台韓 HBV 研究シンポジウム（会長 小嶋 聡一 会員）
平成 26 年度に後援した日台 B 型肝炎ワークショップ（会長 脇田 隆宇 評議員）に引き続き、後援を承認し、第 3 回定例理事会で報告した。

(2) 自治体・市民団体等の後援

① 日本肝臓病患者団体協議会

平成 28 年 7 月 23 日 第 5 回世界・日本肝炎デーフォーラム

平成 28 年 10 月 30 日 第 26 回全国代表者会議・交流の場 in 長野

② 東京肝臓友の会

平成 29 年 3 月 19 日 市民公開講座「医療講演会」

③ その他

平成 28 年 11 月 23 日 平成 28 年度北海道肝疾患専門医療従事者研修会

(3) マイナンバー（特定個番号）の実施について

平成 28 年 1 月にスタートしたマイナンバー（特定個番号）の実施に関する会員への周知を図り、特定個人情報取扱規程に基づいてマイナンバー（特定個番号）の収集を開始した。

以上

事業報告の附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書について、事業報告の内容を補足する重要な事項はない。